

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	農村施設管理運営費				
担 当 課 係 名	農 林 課	農 村 整 備 係	作 成 者	齋 藤 洋	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画のページ
	基本計画	公園や緑地の整備			
		主要施策	農村公園の管理と利用促進		
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産費	1 項 農業費	6 目 農村施設管理運営費	
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市農村公園及び広場条例、仙北市農村公園及び広場管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地元密着型の農村公園を維持管理する
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	レクリエーションなど様々な活動の場として利用される農村公園を適正な状態で管理・運営する
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の清掃、除草作業、施設の冬囲い・雪下ろしなどの維持・管理作業全般

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	維持管理日数（委託日数）	目標	日	365	365	365	
			実績	日	365	365	365	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	市民1人当たりの公園面積	目標	m ²	4	4	4	
			実績	m ²	4	4	4	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,076	3,679	4,206	
	人 件 費 (B)		—		7,853	8,071	7,925	
	職 員 数		—		1.00	1.00	1.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				10,929	11,750	12,131	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				3	9	1
		一 般 財 源				10,926	11,741	12,130
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		29,942	32,192	33,236	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		343	374	391	

【事務事業の今までの成果】

特に高齢者層の利用が多く見られる。また、地元の夏祭り会場として利用されるなど利用価値は高い

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	維持管理費に国、県の補助等はないが、施設の整備を補助する交付金などは整備されている
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	利用者からの要望等は特にない。管理業務を委託している地元の愛護会などからは委託料の増額を求められている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	施設運営は、維持管理が最も重要な点であるため、継続して実施すべきと考える。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	施設の必要性は十分認められますが、維持管理経費が増加傾向にあることを受けて、より効率的な管理運営方法への移行を急ぐべきと考えます。

一次評価診断図

